

天狗党の乱と忍藩

幕末には尊王攘夷をめぐって各藩で激論が交わされましたが、その急先鋒の一つが水戸藩でした。藩主徳川斉昭や藤田東湖らの影響を受け「天狗」と呼ばれた尊攘派の藩士たちは攘夷実行を主張し、元治元年（1864）3月に筑波山で挙兵しました。この争いを天狗党の乱といいますが、水戸藩では反天狗派である諸生党が藩政の実権を握ると乱の鎮圧に乗り出し、幕府も関東の諸藩に出兵を命じました。

幕府が鎮圧を命じた諸藩の中に忍藩は入っていませんが、一方で兵糧運搬を担当しました。この兵糧部隊に加わった藩士大熊左源太が日記を残しており、そこから行程の詳細を知ることが出来ます。部隊は藩士や運搬の農民ら約650人からな



感文帖(個人蔵・郷土博物館保管)

り、7月24日に忍を出発し一旦江戸へ向かった後、日光街道を北上しました。小山から下妻、筑波山を経て水戸街道に入り、途中戦火で焼失した宿場を見ながら、9月5日に水戸に入りました。17日からは砲弾の飛び交う中で兵糧を運びましたが、近くに砲弾が着弾したため大熊は「死ヲ定メ縮心致シ」と記しています。

10月23日に天狗党の乱のうち1千100人余が那珂湊で降伏し、残りは武田耕雲斎を総大将として京都を目指しました。降伏した浪士たちは関東の各藩に預けられ、忍藩も120人を預かり忍城沼橋曲輪内の建物に幽閉しました。このうち浪士45人の著した漢詩などをまとめたものが「感文帖」という表題を付けられて伝わっています。浪士たちが幽閉を解かれたのは、大政奉還後の慶応3年（1867）12月25日ですが、水戸藩も忍藩も同じ徳川家康の血筋を引く大名家であり、浪士たちに対して同情し慰問する忍藩士も多かったようです。

(郷土博物館 鈴木紀三雄)

はじめまして



令和3年2月生まれのお子さんを募集します

- 12月1日(水)～28日(火)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、令和4年1月5日(水)午前11時から市役所307会議室で公開抽選を行います。



令和2年12月生まれのおともだち



中川 新菜ちゃん(音楽)  
令和2年12月13日生まれ  
父・亮太さん 母・里砂さん  
「産まれてきてくれてありがとう♡♡♡元気に育ってね♡♡」



吉田 羽楽ちゃん(香里山町)  
令和2年12月22日生まれ  
父・明史さん 母・郁美さん  
「笑顔あふれる毎日を♡」



森田 謡ちゃん(佐間)  
令和2年12月4日生まれ  
父・徹さん 母・静さん  
「みんなウーチャンが大好きだよ♡」



田端 花衣ちゃん(向町)  
令和2年12月22日生まれ  
父・正雄さん 母・舞さん  
「みんな花衣が大好きだよ♡」



石田 叶愛ちゃん(緑町)  
令和2年12月12日生まれ  
父・ニコルさん 母・麻希さん  
「愛ある人生を。夢叶う人生を。」



加村 泰樹ちゃん(棚田町)  
令和2年12月11日生まれ  
父・行則さん 母・利奈さん  
「毎日、笑顔に癒されてるよ♡健康やかに大きく育ってね!」

今月の表紙

例年、冬から春にかけて火災が多く発生しています。冬は、乾燥・強風といった出火・延焼が起こりやすい条件が揃うため、火の取り扱いには十分に注意が必要です。火災は命の危険だけでなく、大切な財産を失う可能性もあります。一人一人が火災予防を徹底し、自分や大切な家族の命と財産を守りましょう。



現在の友だち登録数26,600人!

行田市公式LINEの友だち登録はこちらから!

●市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。



ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい植物油インキ

市報ぎょうだは再生紙を使用しています